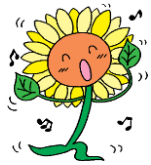


2021年



8月 離乳食献立表



社会福祉法人徳誠福社会
小浜保育園

日	曜日	献立名	主材料名	おやつ	
1	日	休	日		
2	月	中華ざる パナナ	中華ざる 鶏 卵 長ねぎ ハム ほうれん草	ミルク ウエハース	ハイハイ
3	火	おかゆ 豚肉とブロッコリーのあんかけ煮 ほうれん草汁	豚肉 ブロッコリー 人参 ほうれん草	たまご ポーロ	林檎の ハイハイ
4	水	ココア蒸しパン マカロニホワイトソース和え ソーセイジあんかけ キウイフルーツ お茶	ソーセイジ ホットケーキミックス 牛乳 人参 マヨネーズ マカロニ	野菜 せんべい	小魚 せんべい
5	木	おかゆ 野菜あんかけ肉だんご スパゲッティ コンソメスープ	挽肉 人参 玉ねぎ 牛乳 卵 パン粉 クチャップ スパゲッティ	ハイハイ	ミルク ウエハース
6	金	おかゆ 八宝菜 枝豆のマッシュ 大根汁	豚肉 人参 ビーマン 玉ねぎ 竹の子 白菜 ソーセイジ 椎茸 シーフードミックス 枝豆 片栗粉 大根	パフ リング	たまご ポーロ
7	土	おかゆ 豚肉の肉じゃが風 コーンスープ	鶏肉 ジャが芋 人参 玉ねぎ トマト	ウエハース	林檎の ハイハイ
8	日	山の	日		
9	月	振替	休日		
10	火	おかゆ ハムとブロッコリーのやわらか煮 すまし汁	豚肉 ジャが芋 玉ねぎ	野菜 せんべい	林檎の ハイハイ
11	水	マカロニホワイトソース和え すいか コンソメスープ	ホワイトソース 牛乳 マカロニ 蒸しパン	林檎の ハイハイ	ミルク ウエハース
12	木	おかゆ スパゲッティ 肉団子のあんかけ ジャが芋汁	挽肉 人参 玉ねぎ キャベツ スパゲッティ 牛乳 パン粉 クチャップ ジャが芋	野菜 せんべい	緑黄色 野菜ポーロ
13	金	おかゆ 肉豆腐 マッシュポテト 玉ねぎスープ	豚肉 豆腐 玉ねぎ えのき ジャが芋	マンナ ビスケット	ミルク ウエハース
14	土	おかゆ 野菜の和風煮 野菜スープ	野菜の和風煮 野菜スープ	パフ リング	ビスケット
15	日	休日	日		
16	月	五目そうめん キウイフルーツ	冷麦 卵 人参 きゅうり 刻みのり みかんの缶詰 にんべんのたれ ハム	ハイハイ	マンナ ビスケット
17	火	おかゆ 肉じゃが 納豆 すまし汁	豚肉 ジャが芋 玉ねぎ	パフ リング	林檎の ハイハイ
18	水	おかゆ 野菜たっぷり和風煮込み パナナ 麦茶	ジャが芋 人参 玉ねぎ コーン	たまご ポーロ	ウエハース
19	木	おかゆ 牛肉とブロッコリーのあんかけトトロ煮 なす汁	牛肉 ブロッコリー なす 大揚げ	ビスケット	野菜せんべい
20	金	おかゆ 鶏肉の野菜あんかけ スープスパゲッティ	鶏肉 人参 ブロッコリー 玉ねぎ わかめ コンソメ レタス 片栗粉 スパゲッティ	ミルク ウエハース	パフ リング
21	土	豚肉と野菜のリゾット コンソメスープ	豚肉 ジャが芋 ナス コンソメスープ 玉ねぎ 人参 かぼちゃ	マンナ ビスケット	野菜せんべい
22	日	休日	日		
23	月	和風きのこの醤油パスタ パナナ 鶏肉と青梗菜のスープ	鶏肉 青梗菜 コンソメ しめじ ほうれん草 パスタ	ハイハイ	ひじき せんべい
24	火	おかゆ 麻婆豆腐 ブロッコリーのあんかけトトロ煮 レタスとわかめのたまごスープ	豆腐 麻婆豆腐の素 ブロッコリー レタス わかめ たまご	たまご ポーロ	パフ リング
25	水	かぼちゃのマッシュ キャベツとコーンのトトロ煮 コーンスープ	かぼちゃ 卵 コンソメ キャベツ パン粉 薄力粉 玉ねぎ	ミルク ウエハース	緑黄色 野菜ポーロ
26	木	おかゆ 肉じゃが 納豆 すり身汁	豚肉 ジャが芋 玉ねぎ	林檎の ハイハイ	マンナ ビスケット
27	金	おかゆ 野菜ソテー 鶏肉と野菜の中華あんかけ すまし汁	エビ もやし 人参 ビーマン 大天 卵 玉ねぎ	ハイハイ	ビスケット
28	土	おかゆ 野菜肉じゃが トマトサラダ 麦茶	豚肉 ジャが芋 人参 玉ねぎ トマト ツナ缶	パフ リング	野菜 せんべい
29	日	休日	日		
30	月	《8月お誕生会》おかゆ ミートボール マッシュポテト スパゲッティサラダ 麦茶	タレ付きミートボール マッシュポテト スパゲッティサラダ	小魚 せんべい	緑黄色 野菜ポーロ
31	火	おかゆ 鮭とじゃが芋の和風煮 かぼちゃ甘煮 青梗菜のスープ	かぼちゃ 鮭とじゃが芋の和風煮 青梗菜 コンソメ	野菜の ハイハイ	ビスケット

～子どもの「食」の基本～



「食」は子どもの体を作り、生きる楽しさを感じるもの。一人一人の生活の流れや発達を丁寧にしながら、食に子どもを合わせるのではなく、子どもの「食べたいという意思や意欲」に食を合わせていくことが大切です。「お豆腐だよ」「緑色だね」などと子どもに話しかけ、子どもの様子を確認しながら援助することは、主体的に食べる意欲につながっていきます。「おいしいね」と共感していくことで、食が楽しいという気持ちの芽生えに繋がっていきたくですね。